

# らくぱだより 第9号

2017年12月20日 作成



## そして就職へ・・・

12月、なんだか浮き足立ちちゃいますね。今年やり残した事は何ですか？私はやりきりました！頑張った！ダイエット以外は… ε ミ(o ; \_ \_)o ドテッ…

さて、らくぱの教室では就職が相次ぎました。

10月30日に熊本市内で開催された『障がい者合同就職面接会』に希望者のみ参加しました。

県下40社あまりの有名企業が参加するこの面接会では、県内外から200名近い面接希望者とその支援事業所が集結し、一斉に面接が行われます。



我らが『らくぱチーム』は初参戦。実はスタッフ井上、以前に合同就職説明会を企画する仕事をした経験があります。ある程度予想はしていましたが、いきなり一斉に始まる面接会は初めてで、気が付くとアチコチで熱い面接がスタートしていました。



『面接』というと、マニュアルにあるような言葉で自分をアピールする方法が一時期流行っていましたが、らくぱでは、キャリアコンサルタントでもある施設長が、自ら指導いたします。自分のことを知り、素直にきちんと表現できるような練習を行っています。

とはいえ頭ではわかっているつもりでも、実際に体験すると、緊張からかっついてしまいう口癖やムダな動き…難しいものです。しかし、この実践こそがどんな練習にも代えられない大事なことなんですね。繰り返すうちに段々とほぐれていったように感じました。

また、この合同就職面接会では、他の人の面接もたくさん見る事ができるので、良い例、悪い例を自分の事として今後に生かします。

さて、そんな『らくぱチーム』の成果は???

なんと全員が最終面接まで進みました。

その最終面接で、大事なのが条件です。

- ・通勤に支障はないか？
- ・仕事のペースに無理はないか？
- ・やりたいこと、やりたくないことのマッチングは良いか？



などなど仕事を始めたら、その仕事との付き合いは長い年月になることでしょう。そのことをきちんと踏まえた上で、継続できるかも重要なポイントです。ひとりひとりのライフスタイルに添うものであり、それが生きがいであって欲しい。と私達スタッフ一同、願ってやまないのです。

さて、最終面接に挑んだ利用者Kさん、最終面接ともなると面接や試験も時間が長くなります。そして待つこと数日・・・電話がキター！

落ち着いた様子で電話に出られたKさんとは対照的に、スタッフ井上は「ヤッター！」と雄叫びをあげてしまいました。

なんとあの『国立病院』です。Kさんが望んでいた医療関係の仕事なんですよ。

Kさんは現在すでに退所され、12月からさっそく勤務開始。パソコンを使った総務のお仕事を頑張っておられます。自分が病院でお世話になったから…とボソッと呟いたKさん、良かったですね。

そして、それとは別に就職を決められた利用者Bさんがいます。これまで歩んできた一つ一つが間違いなく糧になるんだな、人生って望んだらそれがいつだろうとスタート地点なんだなって…改めて教えていただきました。

『ここ「らくぱ」が、私のターニングポイントでした。』

今は生まれ変わったような気持ちです！』

最後に私達スタッフに残してくださった言葉です。泣いていいですか～(´ ; δ ; `)

